

# 第1号議案「2016年度事業報告」

## はじめに

城北新病院建設は第2期工事に入りました。中期経営計画では工事進行に伴う費用計上も勘案し、2016年度から城北病院は「マイナス決算期間」となり、法人全体も16年度は109万円の経常利益予算という計画でスタートしました。しかし、医局はじめとした全職員、友の会の1年間を通じての取り組みにより、城北病院は大幅に予算超過をし、法人全体も5295万円の経常利益を確保することができました。これは民医連の方針に結集し、「医療・介護活動」と「困難をかかえる患者・利用者に寄り添い運動の力で打開してゆく」ことを結び付けた、民医連らしい活動を1年間貫いた成果と言えます。

## 1、法人運営の改善

- ①2016年度は、引き続き年2回（6月 3月）に総会を開催しましたが、3月総会で定款変更を行い、今後は6月の定時総会のみとしました。
- ②理事会は毎月開催を継続しました。各理事が発言をしやすいような運営に一層努めてゆきます。2017年度の理事会は、土曜の午後開催を継続します。
- ③特別会員制度（定款第5条に規定。法人に功績のあった会員で総会において推薦された者とする）は、概ね80歳以上の会員を対象とし、年会費は免除され、総会の議決権はないなどの細則を、今年の総会で整備しましたが、今回は該当者はなしとします。

## 2、無差別・平等の医療・介護・福祉の推進

- ①各事業所での中期計画の議論を開始しました。友の会とともに「中期計画検討委員会」を発足させた事業所もありますが、管理会議内での議論が続いている事業者もあります。今後理事会で順次検討を進め、2018年度法人全体の中期計画の見直しの中で、法人全体の計画に取り込んでゆきます。
- ②10月より小松みなみ診療所で、無料低額診療事業が始まりました。栗津地域の健康生活実態調査が、県に開始届を受理していただく大きな力となりました。困難を抱える方々に寄り添うこととともに、現状を科学的にデータにまとめることの大切さを改めて示しました。
- ③重度の方も最期まで地域で暮らし続けることを支えることをめざし「24時間対応型訪問看護ステーションすみれ」を4月に開設しました。16年度年間延利用者は前年に比して880名増加、延実人数は、同じく73名の増加です。16年度の新規利用者は102人で、ターミナル加算14件。新規利用がこれだけあることは、24時間対応型訪問看護ステーションへの期待の高さを示しています。
- ④城北新病院建設の工事は順調に進みました。12月には第1期工事が終了し、2017年1月より、新手術室、新厨房などの運用が始まりました。続けて第2期工事に向けて既存建物の解体などが始まり、2017年11月には西病棟の一部と救急部門が稼働します。
- ⑤介護保険制度改定により「総合事業」が17年度より全自治体で実施されることになりました。この事業は要支援者を介護保険サービスから外し、国の責任を投げ捨てるものです。私たちは利用者のサービス継続を保障する観点で、「基準緩和型サービス」の事業所指定の準備を進めました。
- ⑥県連の事業である高齢者住宅ほやね城北は16年7月オープンしました。地域包括ケアに不可欠な「住まい」として役割の発揮が求められます。

⑦ 2016年度の無料低額診療実績は別表⑦のとおりです。法人全体で、延べ利用者31,521名（生活保護24,742名、無料低額診療6,779名）、無料低額診療の減免総額は1792万円。全延患者数に対する割合は9.6%で、前年に比して0.5ポイント減少しました。生活保護の方の延利用者数の減少の要因について調査・検討を進めます。

### 3、職員と友の会の共同した地域での健康づくり事業の推進

- ① 3月の石川県健康友の会連合会総会で新役員体制が選出され、事務局長に勤医協健康推進部責任者が就任しました。また法人健康推進部の体制を補強しました。
- ② 9月の共同組織全国交流会（加賀温泉郷）を成功させました。全国の豊かな経験を学ぶと同時に、石川の先進的な活動について確信を深める集会となりました。
- ③ 各地域で、地域活動の拠点（たまり場）を活用して、各支部・班で、健康体操、健康づくり教室、食事会、サロンなど様々な地域住民の要求に応える活動が展開されました。NPO法人たすけ愛の「助け合い活動」が各地で引き続き取り組まれています。
- ④ こうした地域での健康づくりには、その地域の医療機関が拠点となることが必要で、地域住民も職員もともに取り組むということがHPH（ヘルスプロモーションホスピタル＝健康増進活動拠点病院）という運動です。16年度も、健康チャレンジ、街角健康チェックを始め、住民と職員が友の会が、その主体的な担い手となりました。
- ⑤ 野々市支部、輪島の大屋支部が新規に発足しました。ニュースの手配り活動も「見守り活動」の一環として定着しました。
- ⑥ 事業所利用委員会の全事業所での開催は引き続き課題です。
- ⑦ 2016年度の地域ごとの会員数の動態、班会などの活動参加実績は別表⑧の通りです。組織改定により会員の一元管理が進みました。ダブリ整理による減を除く、実質的な増減は487名加です。街角健康チェックの地域と職員の参加は前年に比して大幅に増加しました。

### 4、医師の確保と養成

- ① 県連に既卒医師対策委員会が発足し、事務責任者を専任配置しました。あわせて、城北病院院長、事務長、県連医師委員会事務局長、既卒医師対策委員会事務責任者、法人専務の既卒対策会議を毎週開催し、情報の共有とつながりのあった医師との訪問面談の設定、大学の教室訪問などを継続して取り組んできました。
- ② 2016年度の既卒医師の参加は以下の通りです
  - ・ 常勤医師 2名（放射線科、内科・整形外科）
  - ・ 非常勤医師 5名（婦人科、透析、当直、内視鏡、羽咋診療所外来）
- ③ 初期修医の受け入れは3名（金沢大学2名、富山大学1名）がマッチングが成立し、全員が国家試験に合格。17年4月から城北病院で初期研修を開始しています。

### 5、事業の継続・発展に必要な利益の確保

- ① 2016年度の経常利益予算は109万円でしたが、最終的な経常利益実績は5295万になる見込みです。一定の到達を築くことができました。
- ② 予算を超える経常利益を確保することができたのは、医師集団を先頭にした全職員と共同組織の奮闘の成果です。収益面では、城北の病棟の高稼働率による入院収益の確保が大きく貢献しています。その背景には、救急搬送2年連続過去最高を更新するなど「無差別・平等」「断ら

ない」という私たちの理念があります。同時に医師労働の一層の過密化がすすんでいます。稼働率を下げてでも必要な収益を確保できる日当点の確保が課題となっています。

③上荒屋Gビジョン会議（前年度から16年5月まで）、健生クリニックビジョン会議（16年10月～17年1月）を開催しました。上荒屋では、夜間外来時間を実態に即して短縮、プールの廃止、給食の食材と品数の変更と職員体制の変更を、健生では、通所リハの祝日営業の開始（但し職員体制の困難により、17年5月時点でまだスタートできていない）などに着手しました。しかしグループ全体の抜本的改善には至っていません。

④おたっしゅホーム城北とおんぼら～とはじめ介護事業所の経営改善には着手できませんでした。

⑤費用面では人件費比率は64.0%でした。これは2億4千万円の経常利益を確保した2012年以来の水準です。

⑥資金結集の到達は以下の通りです。

寄付金 47,842,987円（目標3000万円）

協同基金 28,754,000円（目標7000万円）

建設協力資金 85,370,000円（目標2億円）

寄付金は大口の寄付をお寄せいただいたこともあり、目標を達成しましたが、協同基金、建設協力資金ともに目標の4割台に留まりました。目標を達成するための方策の、常任理事会としての議論と方針提起が弱かったことが原因です。

## 6、次世代を担う職員の育成

①薬剤師、看護師の積極的採用に努めました。入職後に民医連の理念を、日常業務を通じて理解し、体得できるように、県連、法人としての教育研修を重視しました。

②事務管理者養成講座を再開し、10名が卒業しました。今後、管理者への積極的登用を進めてゆきます。同時に「民医連事務幹部は地域の中で育つ」ことを常に意識し、友の会の皆様の援助を得ながら、現実の地域の要求を組織してゆく活動を体験し援助することを重視してゆきます。

③「介護職員初任者研修講座」は事務局体制を整備できず、実施できませんでした。17年度は法人介護部体制を整備し、専任の事務局担当事務を配置し、高校生からの働きかけを組織的に行ってゆきます。

## 7、労働条件の改善・働き方の見直し

①労組幹部と専務会議メンバーで構成する「労働条件検討プロジェクト」を2月から発足させました。

②賃金カーブの見直し、休日代休の取り方、非常勤職員の労働の在り方、取り扱い事項を整理しています。

## 8、生命と平和、民主主義の取組み

①法人のクオリティ目標に沿って、社会保障の拡充、平和と民主主義を守り発展させる取り組みを、友の会と職員の共同ですすめてきました。

②7月の参院選挙では、民医連の方針提起を受け、医療介護福祉を担う職員として、命と平和を守る立場から、「安保関連法の廃止」「立憲主義の回復」についても学習を進めました。

## 2016度の法人運営資料

### ① 総会開催

- ・ 2016年6月26日 定時総会（青少年総合研修センター）  
    会員161名中126名参加（うち委任状72）
- ・ 2017年3月26日 総会（青少年総合研修センター）  
    会員164名中128名参加（うち委任状70）

### ② 理事会開催

- 4月23日 第12回理事会（理事16名 監事2名） 3月総会のまとめ
- 5月28日 第13回理事会（理事20名 監事3名） 友の会月間、6月総会議案
- 6月11日 第14回理事会（理事18名 監事3名） 友の会月間、6月総会議案
- 7月23日 第 1回理事会（理事16名 監事3名） 中期計画、共同組織全国交流会
- 8月27日 第 2回理事会（理事17名 監事3名） 地域医療構想、共同組織月間
- 9月24日 第 3回理事会（理事19名 監事3名） 医師配置、共同組織月間
- 10月22日 第 4回理事会（理事15名 監事3名） 秋闘対応 上半期経営
- 11月26日 第 5回理事会（理事15名 監事3名） 期中監査、資金対応
- 12月24日 第 6回理事会（理事21名 監事3名） 予算編成方針
- 1月21日 第 7回理事会（理事17名 監事3名） 17年度事業計画、土地取得
- 2月25日 第 8回理事会（理事18名 監事3名） 17年事業計画。17年予算案
- 3月18日 第 9回理事会（理事18名 監事3名） 総会議案

### ③ 会計監査人の監査

- ・ 8月16日—18日 寺井G、小松みなみ診、
- ・ 9月30日 城北病院
- ・ 11月10日—11日 本部 城北クリニック 健康支援センター
- ・ 2月22日—24日 本部 輪島診療所 上荒屋G おんぼら〜と
- ・ 3月21日—22日 本部
- ・ 3月31日 城北病院
- ・ 5月22日—24日 本部

### ④ 監事監査

- ・ 5月30日—31日 15年度の期末監査（全事業所と本部）
- ・ 10月20日—11月4日 16年度の期中監査（全事業所と本部）

### ⑤ 会員の動態

【退会】 4名                      【入会】 7名  
 【会員数】 164名（2017年3月末現在）

	奥能登	能登中部	金沢北	金沢南	金沢西	南加賀	小松南部	本部	計
地域	8	8	21	13	10	13	8	14	95
職員	5	2	20	8	6	11	2	15	69
計	13	10	41	21	16	24	10	29	164

### ⑥ 前回定時総会以降の法人会員の物故者

2017年2月16日 高橋芳伸さん（元職員）

⑦ 無料低額診療実績

2016年度無料低額診療事業実績

			城北 病院	寺井 病院	健生 クリニ ク	城北診 療所	城北 クリニ ク	城北 歯科	小松 みな み	手取 の里	計	
延利用者数	外来	生活保護	3,868	550	706	8,118	693	1,018	220		15,173	
		無料低額診療	89	637	199	1,091	1	198	146	0	2,361	
		計	3,957	1,187	905	9,209	694	1,216	366		17,534	
	入院	生活保護	9,153	416							0	9,569
		無料低額診療	239	1,944							2,183	4,366
		計	9,392	2,360							2,183	13,935
	(再掲) 生活保護計		13,021	966	706	8,118	693	1,018	220	0	24,742	
	(再掲) 無料低額診療計		328	2,581	199	1,091	1	198	146	2,183	6,727	
	合計		13,349	3,547	905	9,209	694	1,216	366	2,183	31,469	

※ 小松みなみ診療所は、2016年10月より開始

対総延患者割合(%)	11.1	9.1	5.2	8.6	10.5	8.2	5.6	13.5	9.6
無料低額診療の減免額(千円)	3,342	7,882	876	2,913	7	332	231	2,342	17,925

2015年度無料低額診療事業実績

			城北 病院	寺井 病院	健生 クリニ ク	城北診 療所	城北 クリニ ク	城北 歯科	手取 の里	計	
延利用者数	外来	生活保護	3,965	497	602	8,688	677	706		15,135	
		無料低額診療	71	753	183	811	1	139		1,958	
		計	4,036	1,250	785	9,499	678	845		17,093	
	入院	生活保護	11,404	355						247	12,006
		無料低額診療	313	1,926						1,311	3,550
		計	11,717	2,281						1,558	15,556
	(再掲) 生活保護計		15,369	852	602	8,688	677	706	247	27,141	
	(再掲) 無料低額診療計		384	2,679	183	811	1	139	1,311	5,508	
	合計		15,753	3,531	785	9,499	678	845	1,558	32,649	

※ 手取の里は、2015年6月より開始

対総延患者割合(%)	13.1	8.3	4.2	8.9	10	5.6		11.4	10.1
------------	------	-----	-----	-----	----	-----	--	------	------

16年と15年の比較

2016年	生活保護計	▲ 2,348	114	104	▲ 570	16	312		▲ 247	▲ 2,399
2015年	無料低額診療計	▲ 56	▲ 98	16	280	0	59		872	1,219

⑧ 友の会の動態

	奥能登	能登中部	金沢北	金沢南	金沢西	金沢東	南加賀	小松南部	県外	合計
入会数	113	119	667	421	195	87	318		13	1,933
退会数	153	107	436	230	249	51	183		37	1,446
実増減	▲ 40	12	231	191	▲ 54	36	135		▲ 24	487
現勢	7,404	6,070	13,156	6,232	7,173	1,918	8,285	2,590		50,238
現世帯数	3,226	3,187	6,319	2,917	3,677	891	4,193	1,215		24,410
新支部結成	1				1			小松再掲		2
支部現勢	4	5	10	5	4	0	8			36
班現勢数	15	30	51	25	34	2	35			190
班会等開催累計	226	264	701	605	481	8	424			2,701
地域参加累計	1,619	1,973	7,976	6,182	3,968	83	3,539			25,257
職員参加累計	3	148	833	136	212	37	230			1,562
街角健康チェック回数	3	2	9	8	6	0	3			31
健康チェック地域累計	104	61	389	109	246	0	11			920
健康チェック職員累計	14	7	72	21	17	0	22			153
チャレンジ取組期間	3	2	2	2	2	0	2			13
健康チャレンジ地域年累計	263	299	1,262	211	48	0	744			2,827
健康チャレンジ職員年累計	25	27	1,908	37	54	0	90			2,141
元気誌増減(対前年比)	3	32	17	66	13	0	28			159
現勢数	205	230	809	315	220	0	325			2,104
取扱所増減	0	2	4	6	0	0	10			22
現取扱所数	4	5	35	21	2	0	19			86